

2027年3月期第2四半期（中間期）

決算説明資料

株式会社ベガコーポレーション

証券コード：3542





INDEX

目次

- 1 2027年3月期 第2四半期（中間期）
決算概要
- 2 LOWYA事業の報告
- 3 DOKODEMO事業の報告
- 4 2027年3月期 業績予想 修正あり
- 5 株主還元（配当） 修正あり



1

2027年3月期

第2四半期（中間期）決算概要



全社業績概況

LOWYA事業が好調に推移し、売上高は**9,986百万円（YoY 120.5%）**、
営業利益は**660百万円（YoY 149.0%）**、営業利益率は**6.6%（YoY 1.3pt増）**で着地。
第2四半期累計期間（中間期）及び**第2四半期会計期間（7月～9月）**における**売上高の過去最高**を更新。

	第2四半期累計（中間期）	YoY
売上高	9,986 百万円	120.5 %
売上高（LOWYA）	9,843 百万円	121.3 %
売上高（DOKODEMO）	143 百万円	80.7 %
営業利益	660 百万円	149.0 %

LOWYA事業
概況

- ・ 実店舗出店により**自社EC+実店舗（OMO）**が好調に推移し、売上高は**9,843百万円（YoY 121.3%）**、
営業利益は**666百万円（YoY 151.4%）**で着地。
- ・ **第2四半期累計期間（中間期）**及び**第2四半期会計期間（7月～9月）**における**売上高の過去最高**を更新。
- ・ 自社EC+実店舗（OMO）の売上高は、**6,819百万円（YoY 146.7%）**で着地。
- ・ 当四半期は実店舗を**2店舗**オープン。2026年9月末時点で**計18店舗**を展開中。

DOKODEMO事業
概況

- ・ 米国の**非課税基準額（デミニミス）**ルール廃止や**指定濫用防止医薬品**販売時のオンライン面談必須化等の影響により、GMVは**866百万円（YoY 78.8%）**、売上高は**143百万円（YoY 80.7%）**で着地。

※1. 自社EC：前第4四半期より「旗艦店」から「自社EC」に名称を変更しております
※2. OMO (Online Merges with Offline)：オンライン（インターネット）とオフライン（実店舗）の融合
※3. GMV：Gross Merchandise Value（流通総額）



（単位：百万円）

	2026年3月期 第2四半期累計 （中間期）	2027年3月期 第2四半期累計 （中間期）	YoY	2027年3月期 上期計画	2027年3月期 上期進捗率
売上高	8,289	9,986	120.5%	9,200	108.5%
売上総利益	4,308	5,343	124.0%	—	—
売上総利益率	52.0%	53.5%	—	—	—
販管費	3,865	4,683	121.1%	—	—
販管費率	46.6%	46.9%	—	—	—
営業利益	443	660	149.0%	550	120.0%
営業利益率	5.3%	6.6%	—	—	—
経常利益	451	664	147.3%	555	119.7%
中間純利益	295	416	140.8%	338	123.0%



(単位：百万円)

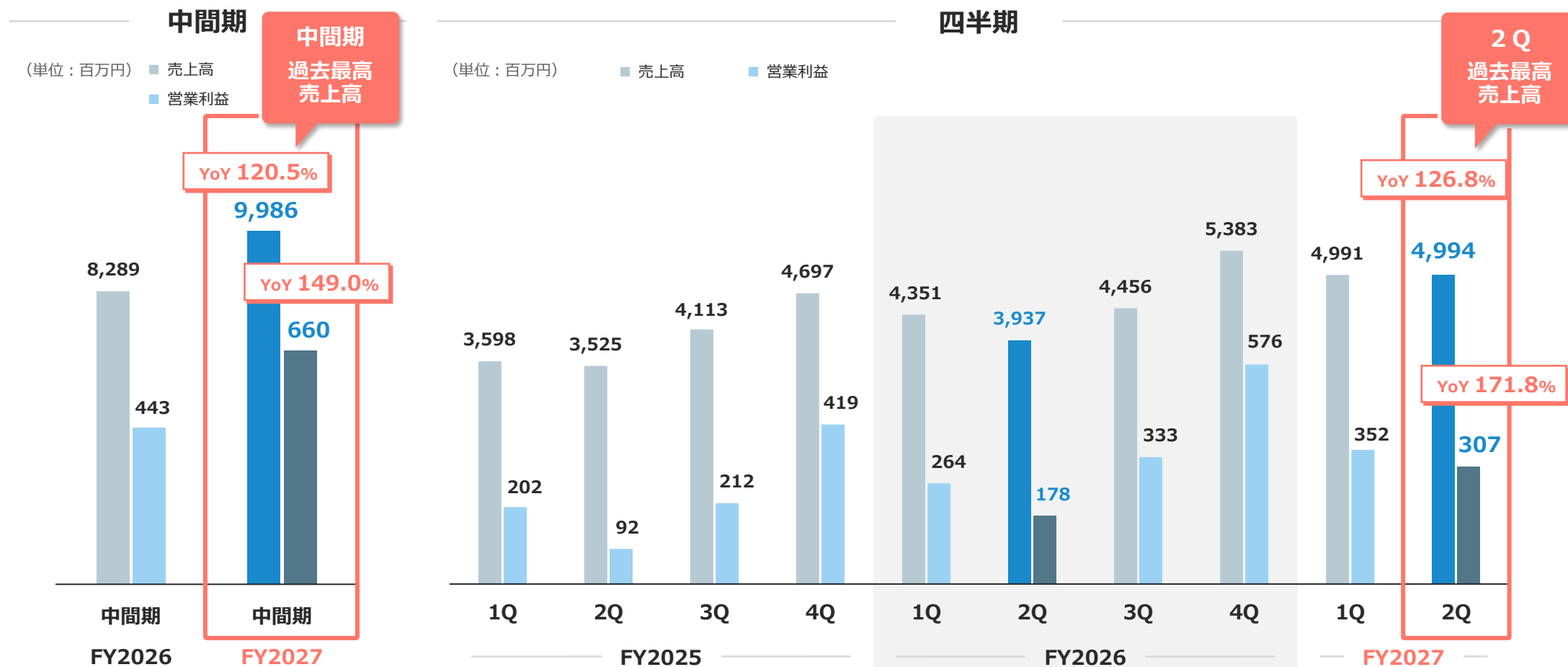
	2026年3月期				2027年3月期	
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期
売上高	4,351	3,937	4,456	5,383	4,991	4,994
売上総利益	2,248	2,059	2,376	2,901	2,666	2,676
売上総利益率	51.7%	52.3%	53.3%	53.9%	53.4%	53.6%
販管費	1,984	1,881	2,042	2,324	2,313	2,369
販管費率	45.6%	47.8%	45.8%	43.2%	46.4%	47.4%
営業利益	264	178	333	576	352	307
営業利益率	6.1%	4.5%	7.5%	10.7%	7.1%	6.1%
経常利益	267	183	335	579	353	311
四半期純利益	178	117	214	374	220	196



中間期の売上高は9,986百万円（YoY 120.5%）、営業利益は660百万円（YoY 149.0%）で着地。

2Qの売上高は4,994百万円（YoY 126.8%）、営業利益は307百万円（YoY 171.8%）で着地。

なお、中間期及び2Qにおける売上高の過去最高を更新。





(単位：百万円)

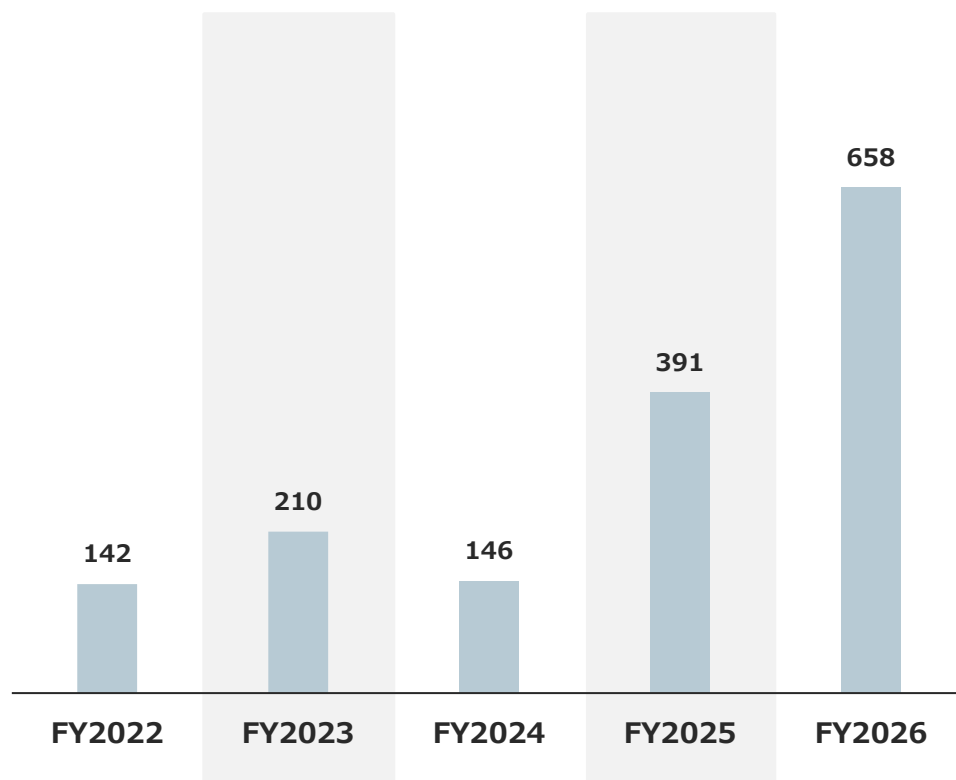
	2026年3月期	2027年3月期 第2四半期 (中間期)		2026年3月期	2027年3月期 第2四半期 (中間期)
流動資産	7,180	6,697	流動負債	1,986	2,230
うち、現預金	1,901	2,192	うち、買掛金	383	627
うち、売掛金	2,197	1,646	うち、未払金	970	869
うち、商品	2,522	2,424	うち、借入債務	—	—
固定資産	2,212	3,281	固定負債	166	313
うち、有形固定資産	714	1,585	負債合計	2,153	2,544
うち、無形固定資産	333	321	株主資本	7,154	7,415
うち、投資その他の資産	1,163	1,374	純資産合計	7,239	7,434
資産合計	9,392	9,979	負債純資産合計	9,392	9,979



2026年3月期は、実店舗出店の効果により営業活動によるキャッシュフローは増加したが、
実店舗への設備投資や配当金の支払いにより**実質フリーキャッシュフロー**は**34百万円**で着地。

設備投資の推移

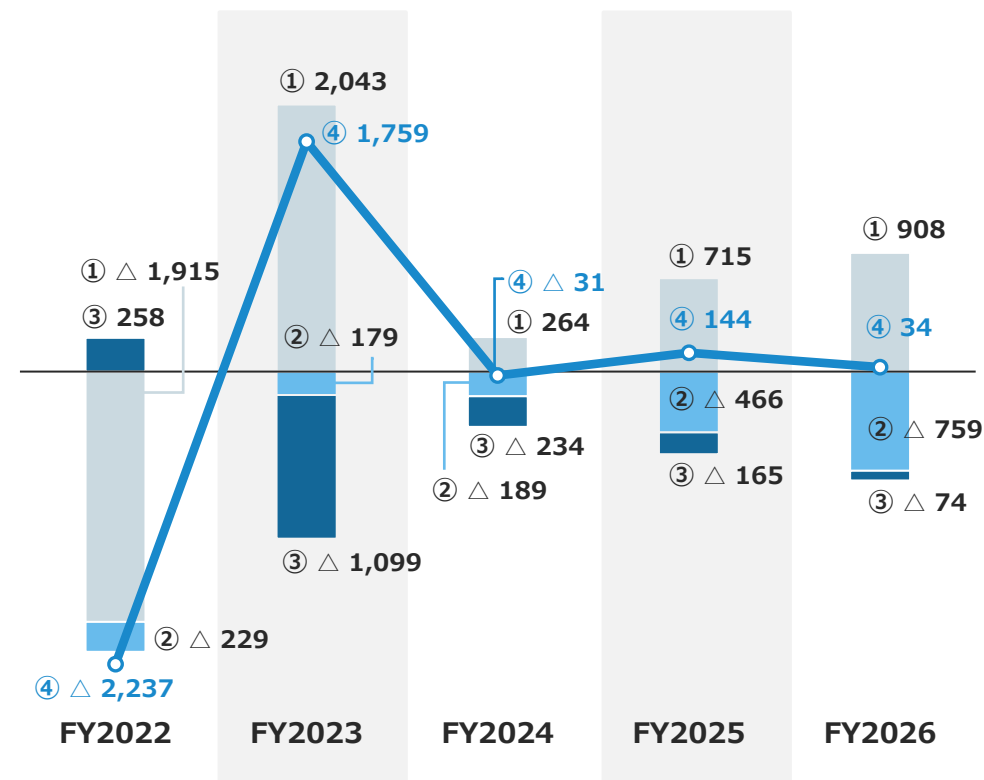
(単位：百万円)



キャッシュ・フローの推移

(単位：百万円)

① 営業活動によるキャッシュフロー
② 投資活動によるキャッシュフロー
③ 財務活動によるキャッシュフロー
④ 実質フリーキャッシュフロー (①+②-配当金による支出)





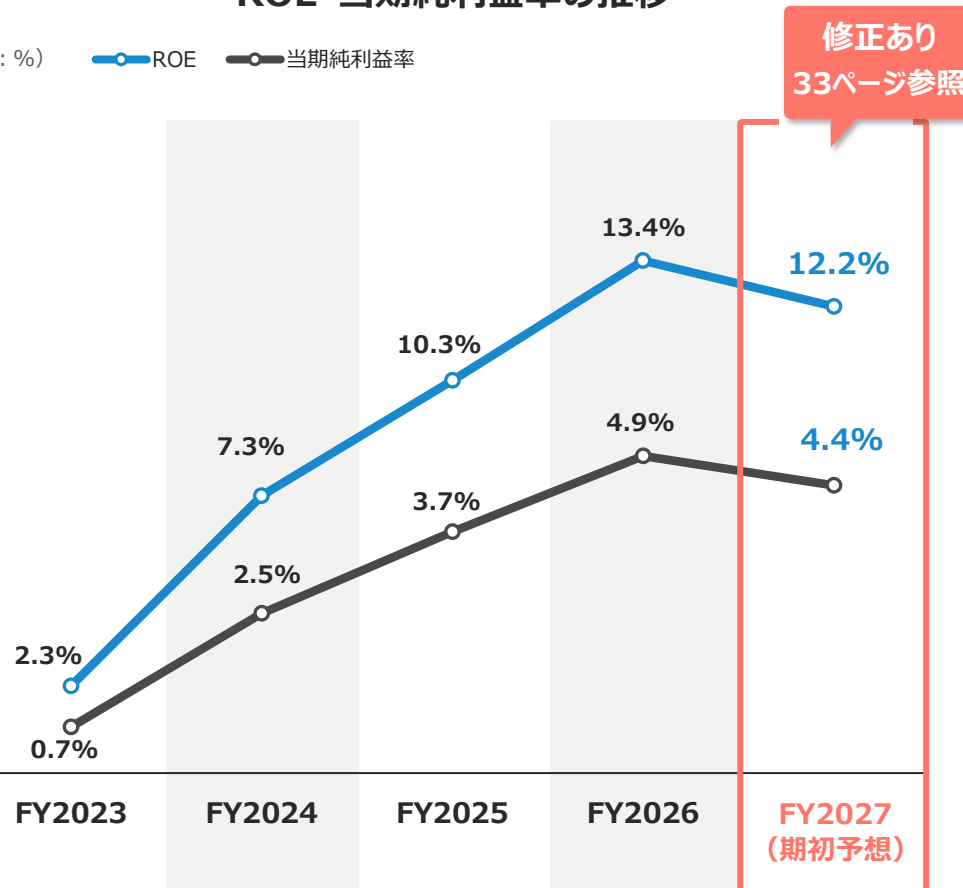
2027年3月期はROE 12.2%、当期純利益率 4.4%の計画。配当は1株当たり18円を予定。
配当性向20%又はDOE2.0%のいずれか大きい額を基準とした配当を実施し、残りは成長投資へ回す方針。

ROE・当期純利益率の推移

(単位：%)

ROE

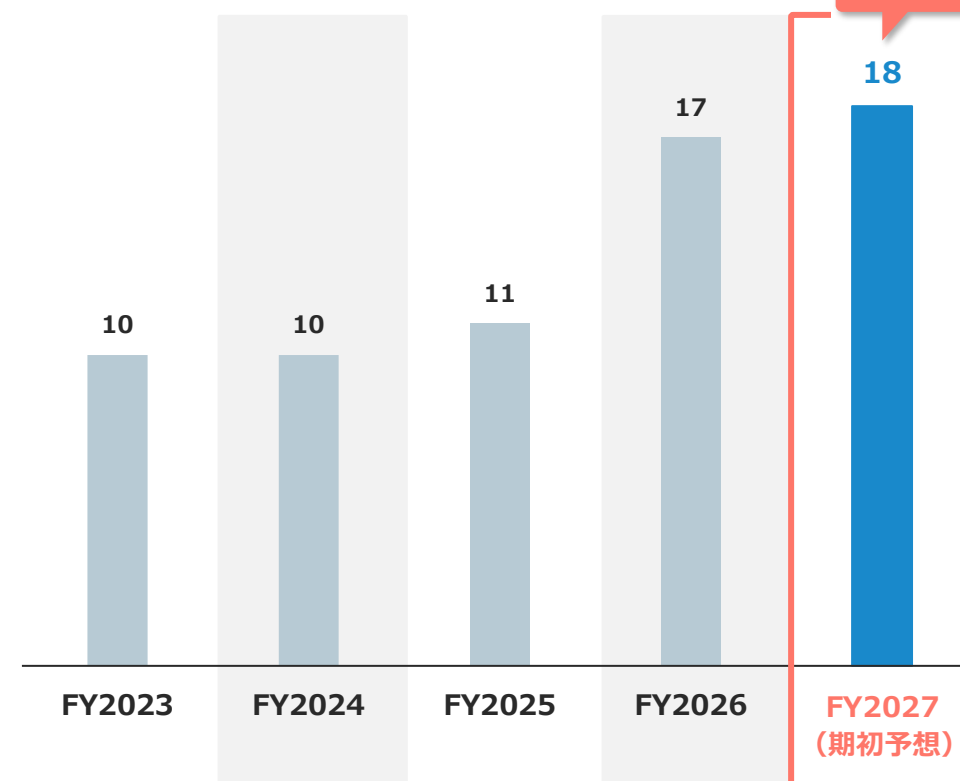
当期純利益率



1株当たり配当金の推移

(単位：円)

修正あり
35ページ参照





2

LOWYA事業の報告



実店舗出店の効果に加え、自社EC＋実店舗のOMO施策を通じた**新商品展開**が寄与し、売上高は**9,843百万円**（YoY **121.3%**）で着地。また、当四半期は実店舗を2店舗オープンし、2026年9月末時点で**計18店舗**を展開中。自社EC会員数、APP DL数、SNSフォロワー数ともに順調に増加。

売上高

9,843 百万円

YoY 121.3%

営業利益

666 百万円

YoY 151.4%

客数

431 千人

YoY 110.7%

客単価 ※3

23,788 円

YoY 108.8%

実店舗数

18 店舗

前期末比 +5店舗

自社EC会員数 ※1、4

2,698 千人

YoY 123.7%

APP DL数 ※4

2,200 千件

YoY 116.3%

SNSフォロワー数 ※4、5

3,054 千アカウント

YoY 136.7%

※1. 自社EC：前第4四半期より「旗艦店」から「自社EC」に名称を変更しております

※2. OMO (Online Merges with Offline)：オンライン（インターネット）とオフライン（実店舗）の融合

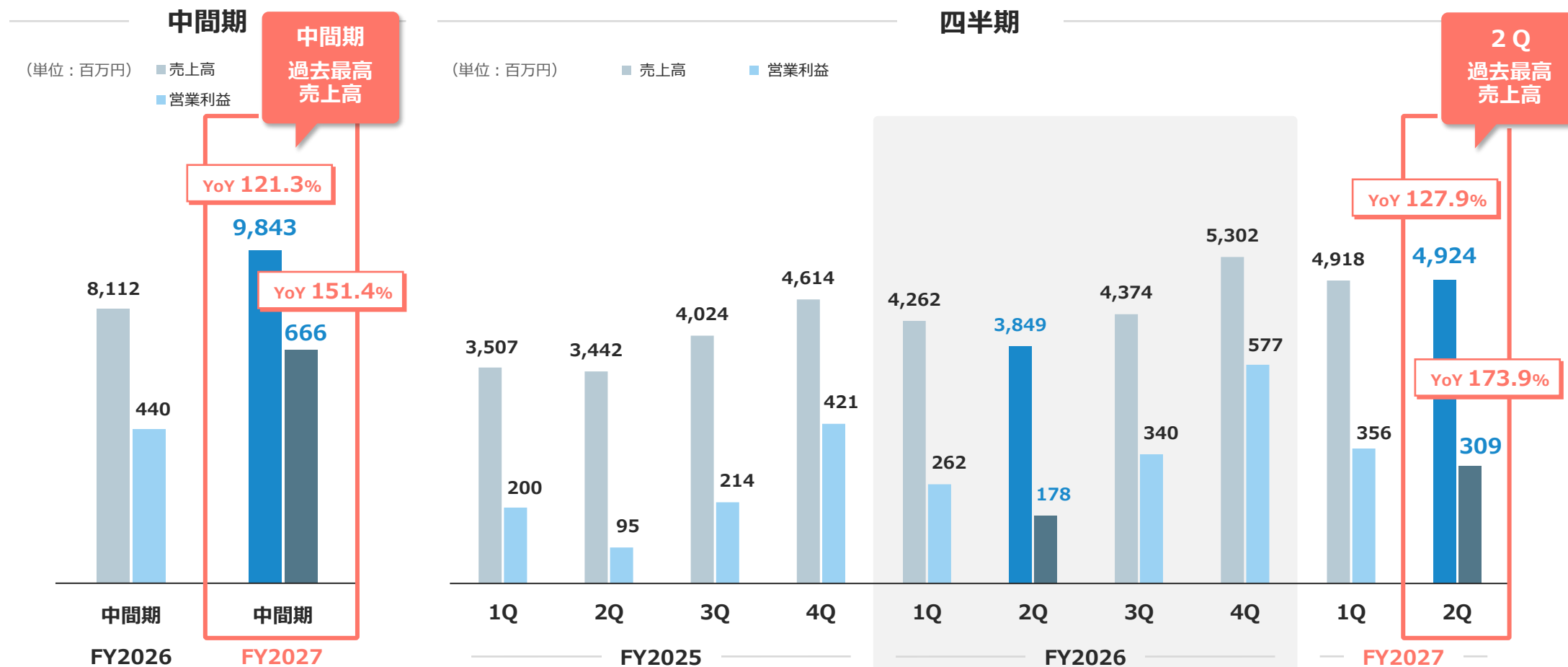
※3. 受注GMV（Gross Merchandise Value（流通総額））を受注件数で除すことにより算出

※4. 2026年9月末時点

※5. Instagram、TikTok、X、Lemon8、Threads、facebookフォロワー数、YouTube登録者数の合計。なお、前第4四半期より「エンゲージメントアカウント数」から「SNSフォロワー数」に名称を変更しております



中間期の売上高は9,843百万円（YoY 121.3%）、営業利益は666百万円（YoY 151.4%）で着地。
また、2Qの売上高は4,924百万円（YoY 127.9%）、営業利益は309百万円（YoY 173.9%）で着地。
なお、中間期及び2Qにおける売上高の過去最高を更新。





実店舗出店の効果に加え、自社EC+実店舗のOMO施策を通じた**新商品展開**が寄与し、売上高は順調に成長。

当四半期においては、**7月に1店舗、9月に1店舗**の計2店舗の実店舗をオープンし、2026年9月末時点で**計18店舗**を展開中。

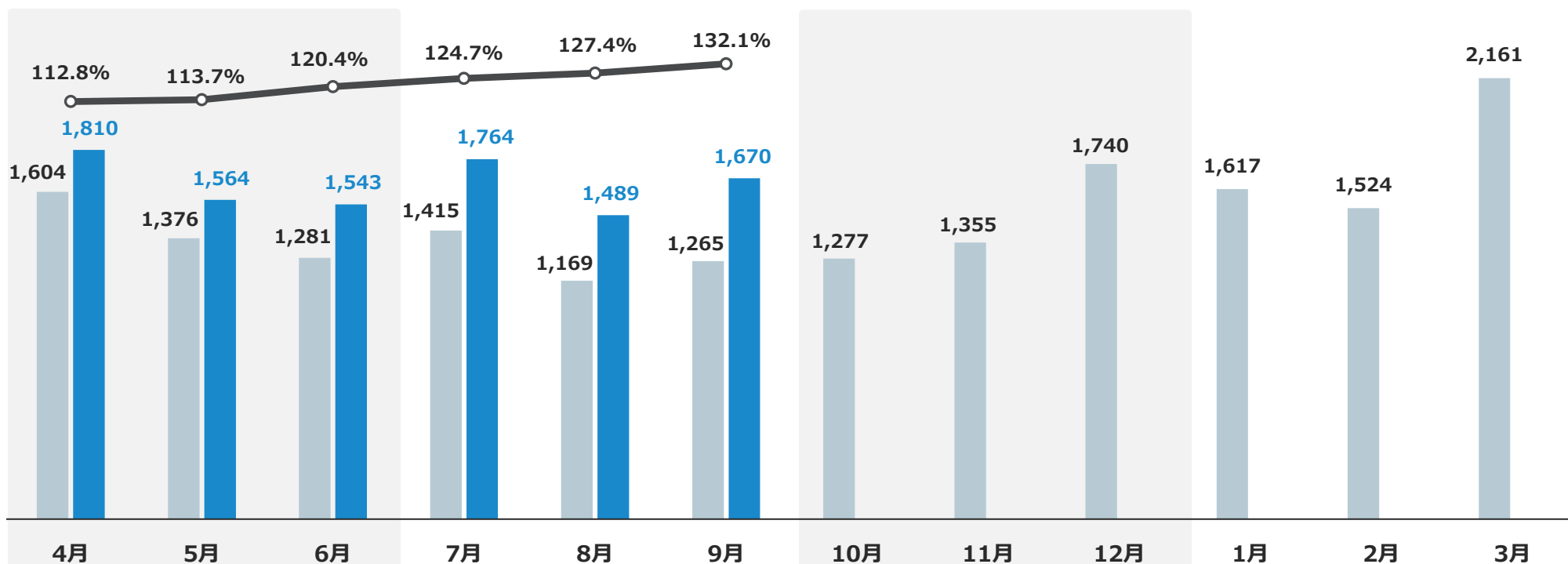
売上高（月次）

（単位：百万円）

2026年3月期

2027年3月期

YoY



実店舗数

2027年3月期	15	15	16	17	17	18						
2026年3月期	9	9	10	10	10	10	10	11	13	13	13	13

※1. 自社EC：前第4四半期より「旗艦店」から「自社EC」に名称を変更しております

※2. OMO（Online Merges with Offline）：オンライン（インターネット）とオフライン（実店舗）の融合

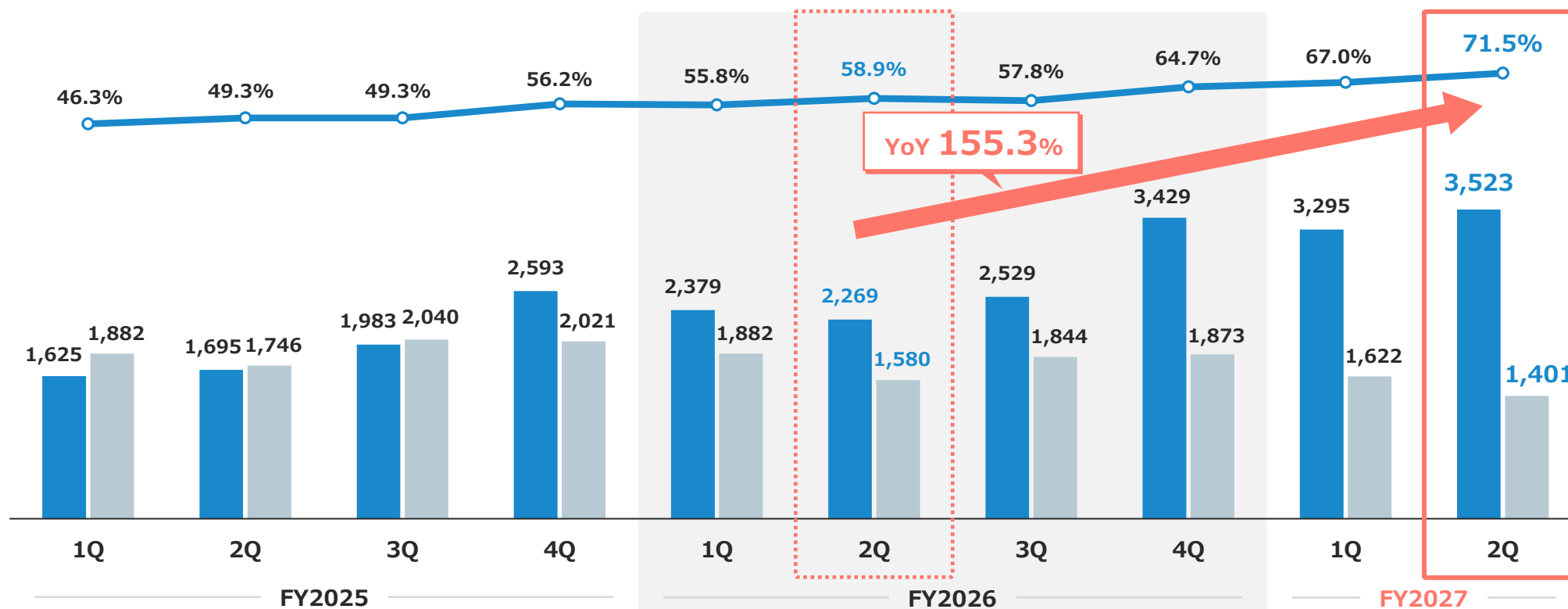


実店舗出店の効果により**自社EC+実店舗（OMO）**が好調。自社EC+実店舗（OMO）が**3,523百万円（YoY 155.3%）**となった一方、ECモール店は**1,401百万円（YoY 88.7%）**で着地。当2Qの**OMO比率**は**71.5%**となった。

売上高（四半期）

（単位：百万円）

■ 自社EC+実店舗（OMO） ■ ECモール店等 ● OMO比率



※1. 自社EC：前第4四半期より「旗艦店」から「自社EC」に名称を変更しております

※2. OMO（Online Merges with Offline）：オンライン（インターネット）とオフライン（実店舗）の融合



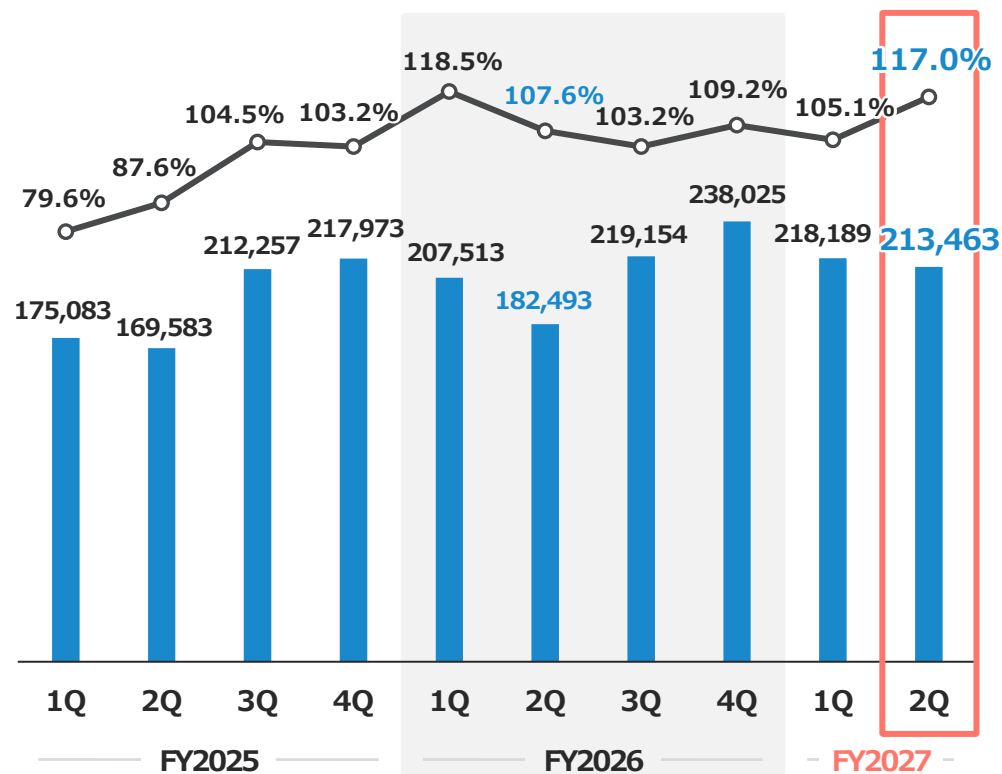
実店舗の増加に伴い客数は増加。

客単価も前年同四半期を上回り堅調に推移。

客数

(単位：人)

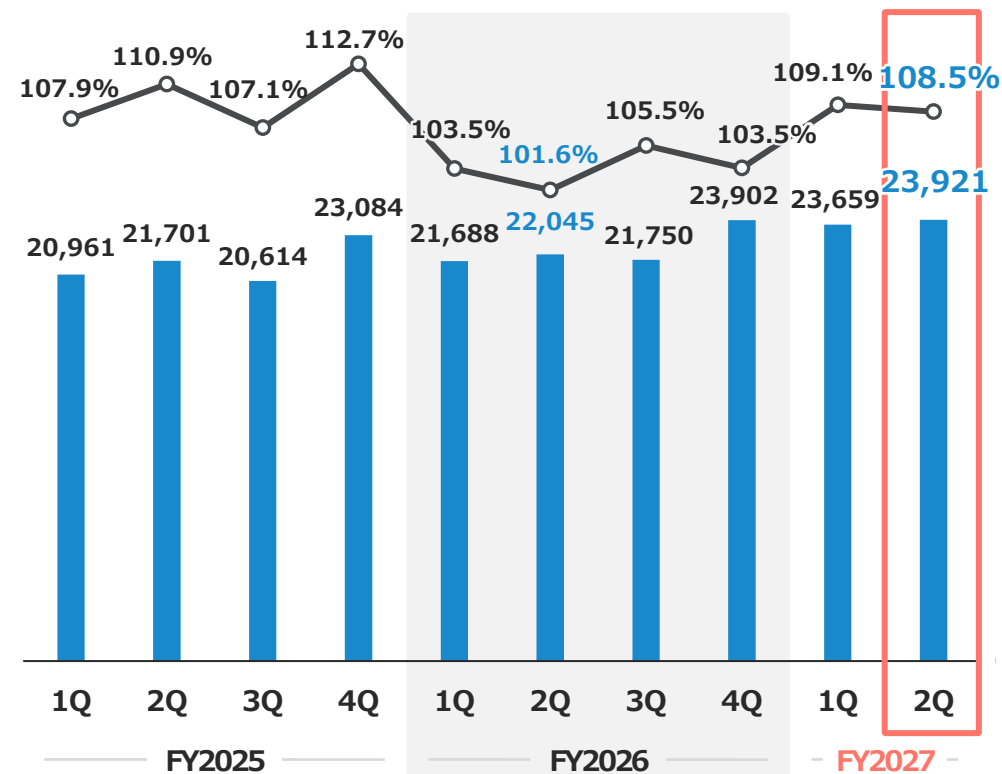
■ 客数 ○ YoY



客単価

(単位：円)

■ 客単価 ○ YoY

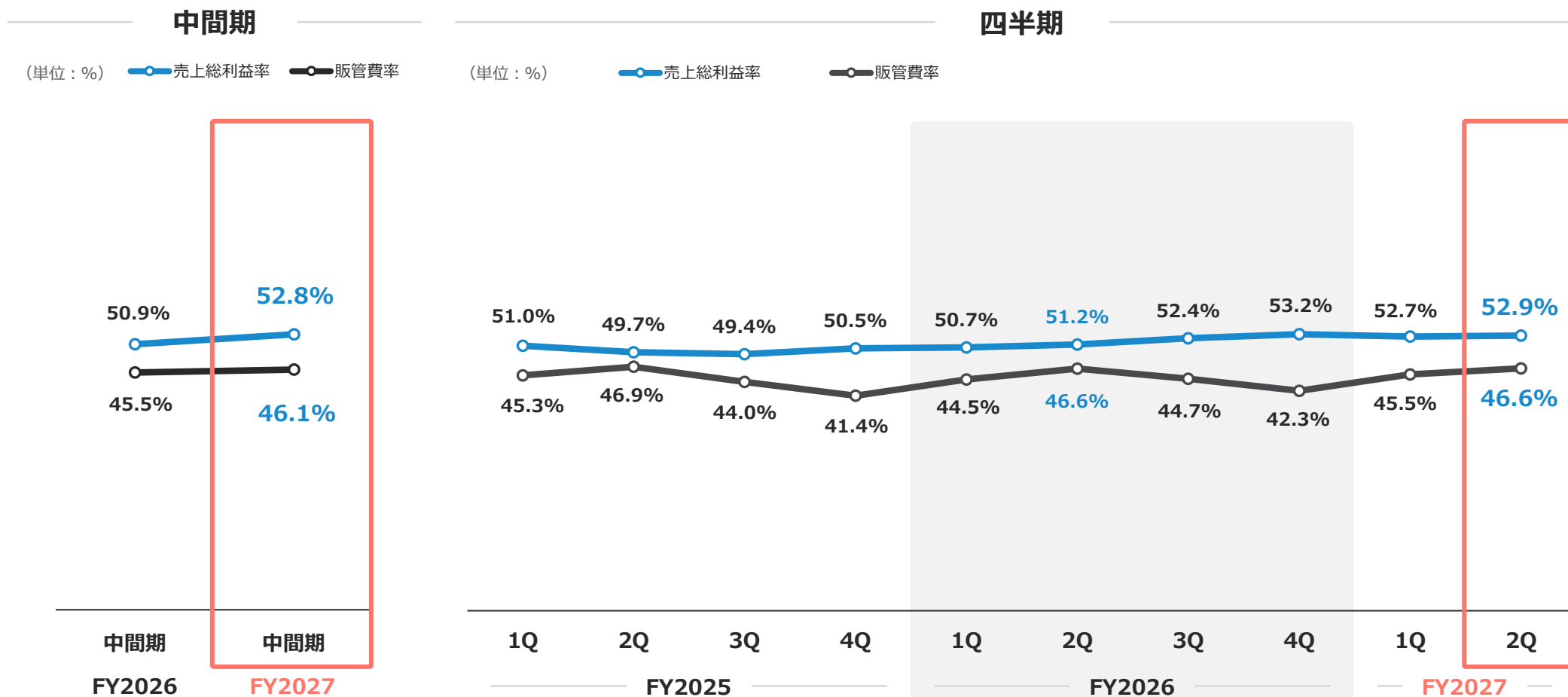


※1. 客単価は、EC及び実店舗の受注GMV（Gross Merchandise Value（流通総額））を受注件数で除すことにより算出

※2. FY2025 2Qにおいて客数、客単価の算出方法を変更（実店舗分を加算）したことに伴い、遡及修正して表示しております。また、FY2026 4Qにおいて、FY2026 3Qの客数及び客単価を修正いたしました

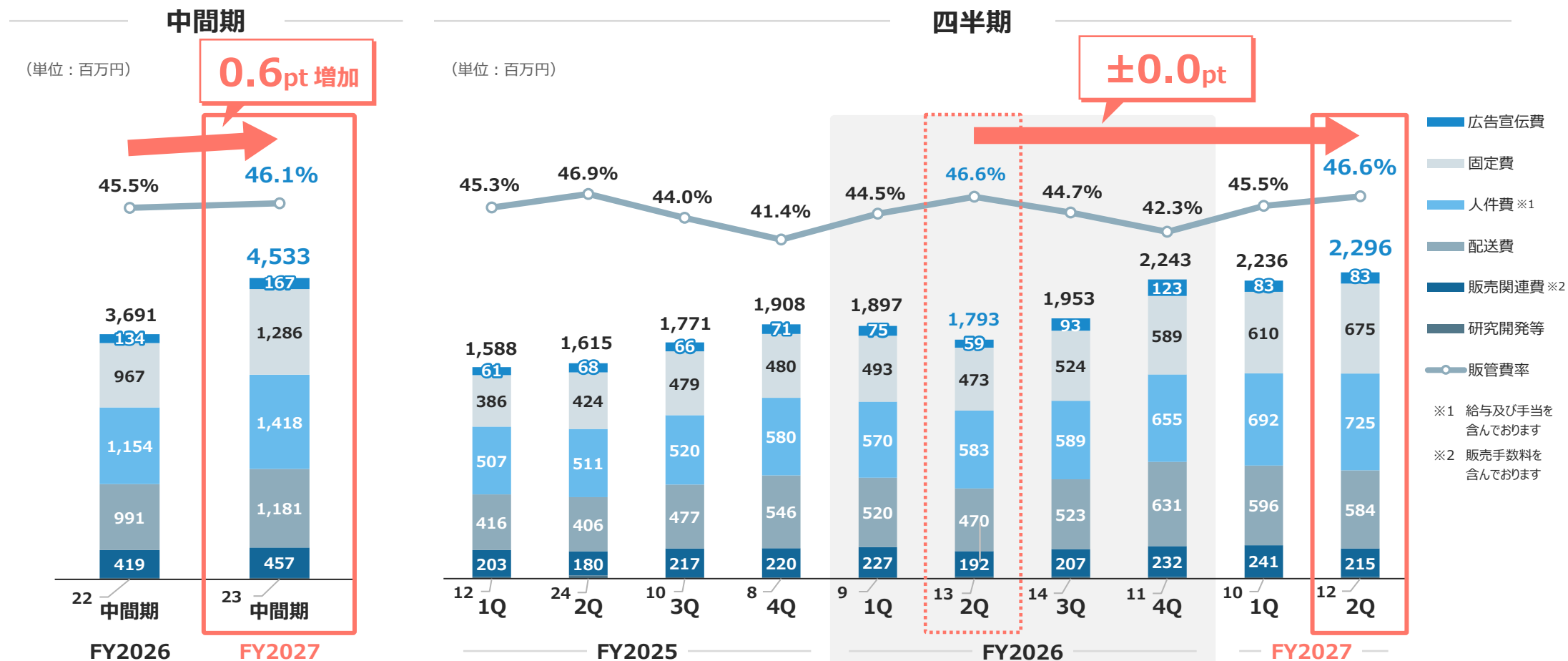


為替レートは円安傾向で推移したものの、OMO戦略による商品力・ブランド価値の向上を背景に、円安環境下でも売上総利益率を改善。中間期の売上総利益率は52.8%（YoY 1.9pt増）、販管費率は46.1%（YoY 0.6pt増）、2Qの売上総利益率は52.9%（YoY 1.7pt増）、販管費率は46.6%（YoY ±0.0pt）で着地。





実店舗の増加により販管費は増加し、中間期は4,533百万円、2Qは2,296百万円で着地。
ただし、販管費率は、中間期が46.1% (YoY 0.6pt増)、2Qが46.6% (YoY ±0.0pt) と同水準を維持。



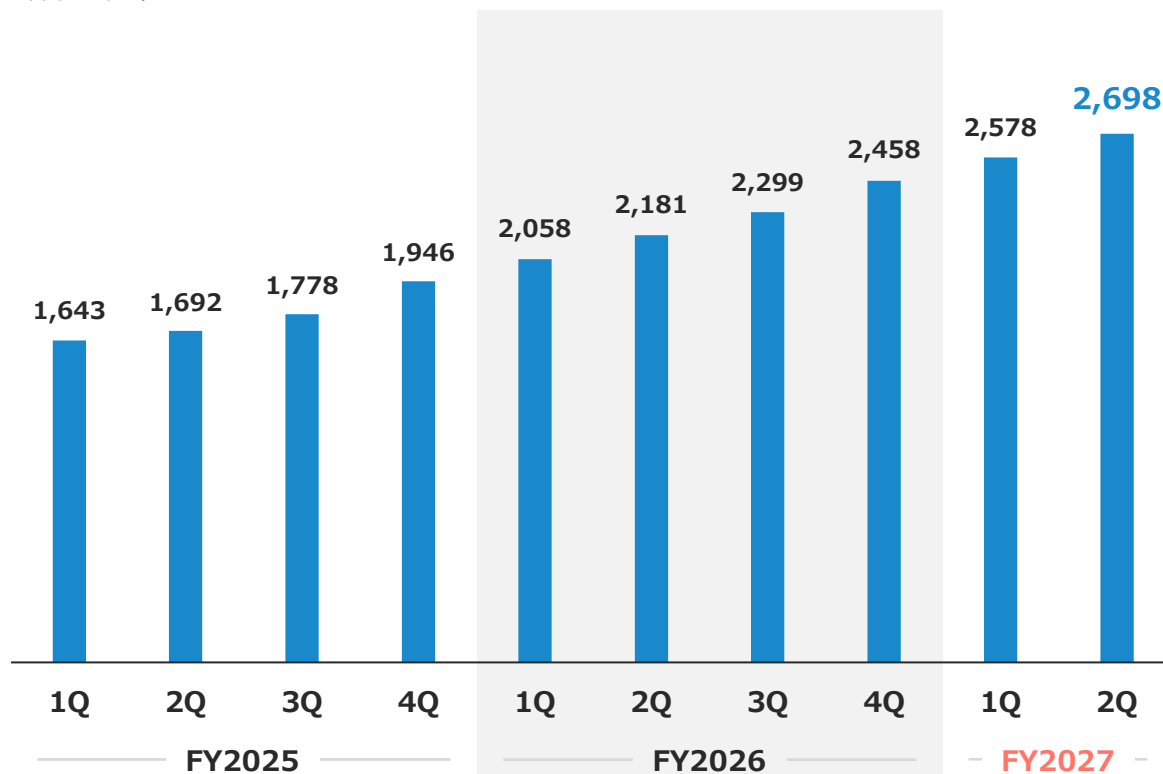
※算定基準となる売上高はDOKODEMO事業及び研究開発費に係る収益を除いた金額となるため、損益計算書上の販管費比率とは一致いたしません



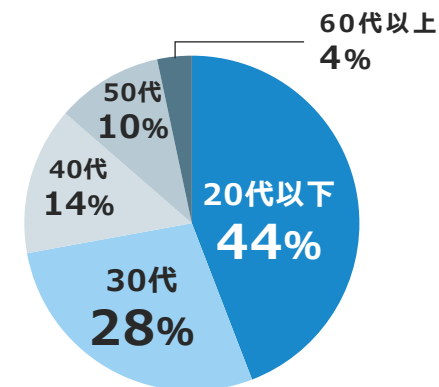
自社ECの会員数は**260万**を突破し着実に増加。
20代～30代の支持が厚い。

自社ECの会員数推移

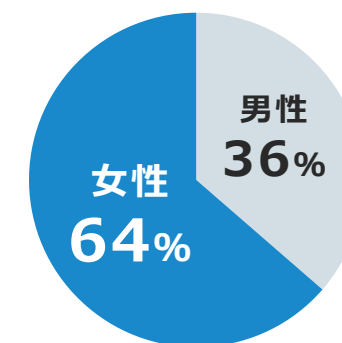
(単位：千人)



世代分布



男女比



※1. 自社EC：前第4四半期より「旗艦店」から「自社EC」に名称を変更しております

※2. 会員数は自社ECで会員登録した全ての会員

※3. 世代分布及び男女比は、直近四半期から過去12か月の自社ECにおける購入者のうち、属性を回答している会員のデータ



デザイン性・トレンド性にこだわった**自社PB商品**を中心に投下し、コスト競争力のある**リーズナブルな価格**訴求。

家具



2人掛けソファ
85,000円(税込)



ダイニング伸縮テーブルセット
75,000円～149,000円(税込)



オフィスチェア
29,990円(税込)



ミドルカシリーズ
テーブル / 収納 他
7,990円～19,990円(税込)

その他



真空保存容器
15,990円(税込)



コンパクト衣類乾燥機
6,990円(税込)



内製化している公式アプリやSNS運用が、集客の要として機能。

LOWYAアプリが累計220万ダウンロード、おくROOM®アプリが累計120万ダウンロードを突破。

世界観を広範なユーザーに届けるアプリ・SNSの規模
(2026年9月末現在)

 LOWYAアプリ **220** 万 ダウンロード (累計)

 Instagram **179** 万 フォロワー

 TikTok **47** 万 フォロワー

 YouTube **25** 万 チャンネル登録者

 おくROOM®アプリ **121** 万 ダウンロード (累計)

LOWYAアプリ



おくROOM®アプリ



LOWYAの公式SNS





テレビをはじめ、雑誌や新聞、ウェブメディア等、様々な媒体で取り上げられている。

	時期	放送局	番組名	地域		時期	放送局	番組名	地域
テレビ	2026年 7 月	フジテレビ系列	めざましテレビ	全国	テレビ	2026年 9 月	TNCテレビ西日本	報道ワイド 記者のチカラ 福岡NEWSファイル CUBE ももち浜ストア 生放送てんじんNOW！ サクラボ	福岡県
		TBSテレビ系列	ひるおび Nスタ	全国					
	2026年 9 月	フジテレビ系列	ナゾトレMAXXX	全国		時期	出版社	媒体名	
		FBS福岡放送	バリはやッ！	福岡県他	新聞	2026年 7 月	日本経済新聞社	日経MJ 2026年 7 月10日発行 新製品コーナー	
		KBC九州朝日放送	アサデス。 アサデス。GOLD 夕方ワイド情報番組「ぎゅっと」	福岡県他				雑誌	2026年 8 月
		RKB毎日放送	タダイマ！ 金曜ももピッ！	福岡県他	2026年 9 月	東洋ファニチャー リサーチ	ルームファニシング 2026年 9 月28日発行（通巻3632号）		
		TVQ九州放送	週刊よかタイムス	福岡県他					



オープン前の**LOWYAキャナルシティ博多店**において、LOWYA史上初となる**新商品発表会**を開催。
最新アイテムの展示や、2026年秋冬の新作家具シリーズの先行公開を実施。
外部インフルエンサーも招待し、情報発信・SNS拡散を推進。



開催期間：2026年8月28日（金）～ 2026年9月2日（水）

会 場：LOWYAキャナルシティ博多店（福岡県福岡市）





2026年7月に1店舗、9月に1店舗オープン。
当期の出店目標6店舗のうち、5店舗を出店。

17号店（イオンモール筑紫野店）

2026年7月

福岡県筑紫野市

イオンモール筑紫野にオープン。



18号店（キャナルシティ博多店）

2026年9月

福岡県福岡市

キャナルシティ博多 イーストビルにオープン。





2026年7月に福岡県筑紫野市、2026年9月に福岡県福岡市へ出店。
2026年9月末時点で計18店舗を展開中。

2027年3月期

7月～9月出店済み

店舗名 : LOWYAイオンモール筑紫野店

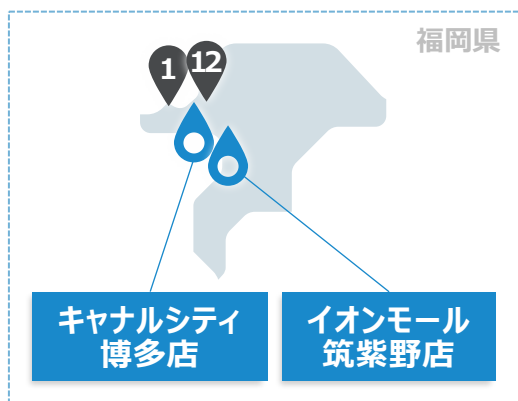
開業日 : 2026年7月24日

出店場所 : イオンモール筑紫野（福岡県筑紫野市）

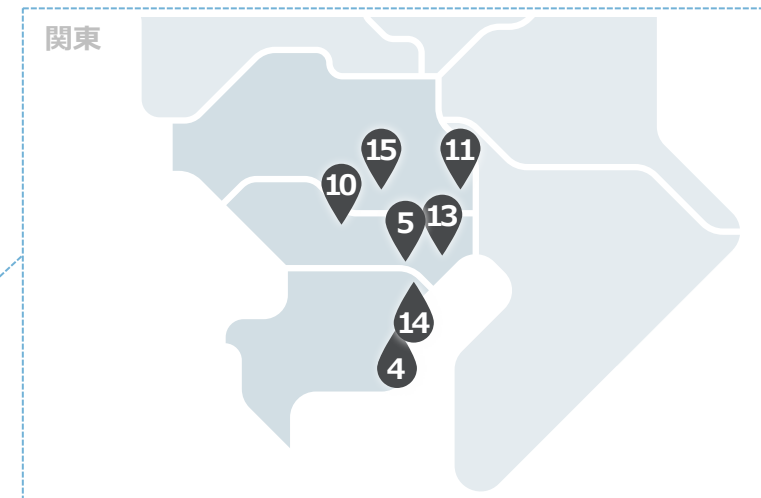
店舗名 : LOWYAキャナルシティ博多店

開業日 : 2026年9月4日

出店場所 : キャナルシティ博多 イーストビル
（福岡県福岡市）



関東



出店済み

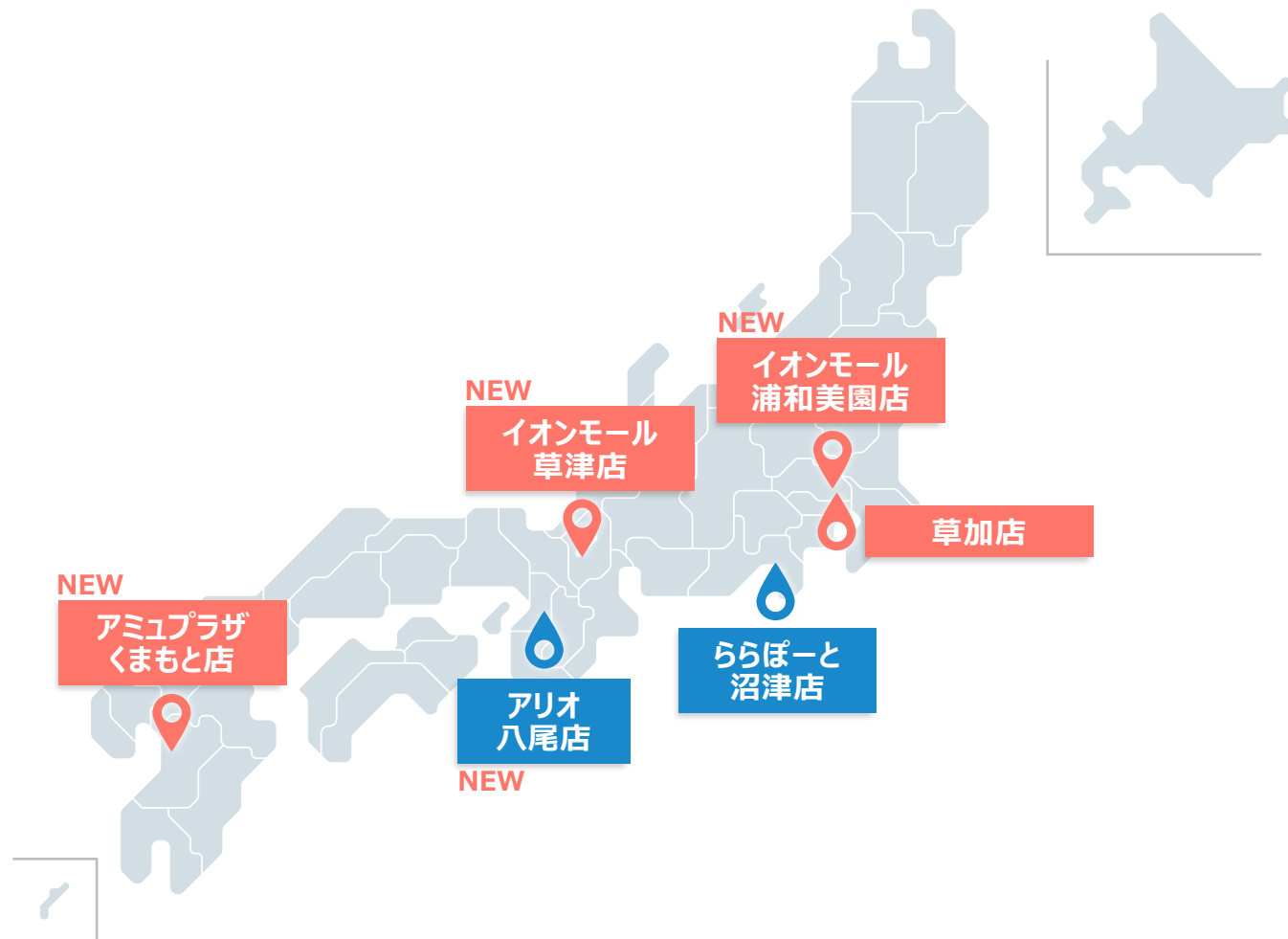
- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1 LOWYA九大伊都店 | 9 LOWYAららぽーと安城店 |
| 2 LOWYAなんばパークス店 | 10 LOWYAイオンモールむさし村山店 |
| 3 LOWYA名古屋みなと店 | 11 LOWYAららぽーと新三郷店 |
| 4 LOWYAマークイズみなとみらい店 | 12 LOWYAイオンモール福岡店 |
| 5 LOWYA二子玉川ライズ店 | 13 LOWYA渋谷宮益坂店 |
| 6 LOWYAイオンモール広島府中店 | 14 LOWYAグランツリー武蔵小杉店 |
| 7 LOWYAイオンモール茨木店 | 15 LOWYAららぽーと富士見店 |
| 8 LOWYAマークイズ静岡店 | 16 LOWYAイオンモール橿原店 |



大阪府八尾市への出店が決定し、2026年10月に出店済み。

また、2027年春に熊本県熊本市、埼玉県さいたま市、滋賀県草津市への出店が新たに決定。

出 店 済 み	店舗名 : LOWYAアリオ八尾店 開業日 : 2026年10月2日 出店場所 : アリオ八尾（大阪府八尾市）	NEW
	店舗名 : LOWYAららぽーと沼津店 開業日 : 2026年10月30日 出店場所 : ららぽーと沼津（静岡県沼津市）	
出 店 予 定	店舗名 : LOWYA草加店 開業日 : 2027年春（予定） 出店場所 : 埼玉県草加市	
	店舗名 : LOWYAアミュプラザくまもと店 開業日 : 2027年春（予定） 出店場所 : アミュプラザくまもと（熊本県熊本市）	NEW
	店舗名 : LOWYAイオンモール浦和美園店 開業日 : 2027年春（予定） 出店場所 : イオンモール浦和美園（埼玉県さいたま市）	NEW
	店舗名 : LOWYAイオンモール草津店 開業日 : 2027年春（予定） 出店場所 : イオンモール草津（滋賀県草津市）	NEW





3

DOKODEMO事業の報告



米国の非課税基準額（デミニミス）ルール廃止や指定濫用防止医薬品販売時のオンライン面談必須化等の影響によりGMVは866百万円（YoY 78.8%）、売上高は143百万円（YoY 80.7%）で着地。
会員数やアプリダウンロード数は順調に推移。

GMV ※1

866 百万円

YoY 78.8%

売上高

143 百万円

YoY 80.7%

会員数 ※2

1,281 千人

YoY 105.9%

APP DL数 ※2

1,747 千件

YoY 103.0%

客数

52 千人

YoY 72.4%

客単価

13,836 円

YoY 111.0%

取扱商品数 ※2

136 千点

YoY 248.7%

配送実績 ※2、3

133 か国

YoY 107.3%

※1. Gross Merchandise Value（流通総額）

※2. 2026年9月末時点

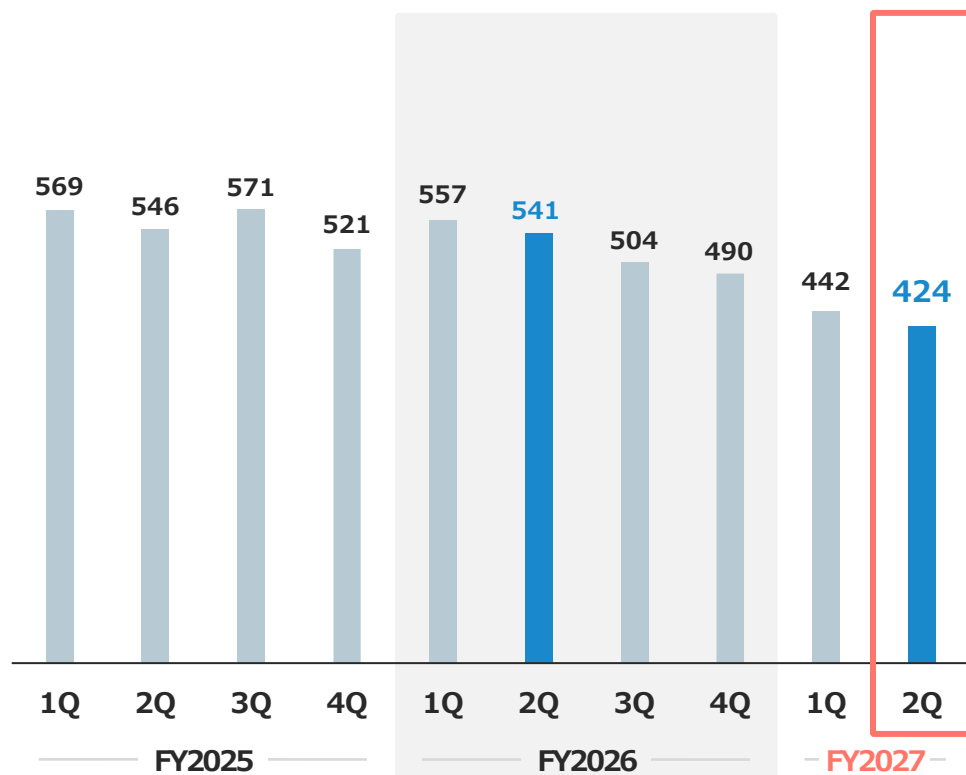
※3. 国と地域の配送実績数（過去累積）



米国の非課税基準額（デミニミス）ルール廃止や指定濫用防止医薬品販売時のオンライン面談必須化等の影響により
GMVは424百万円、事業収支は△2百万円で着地。

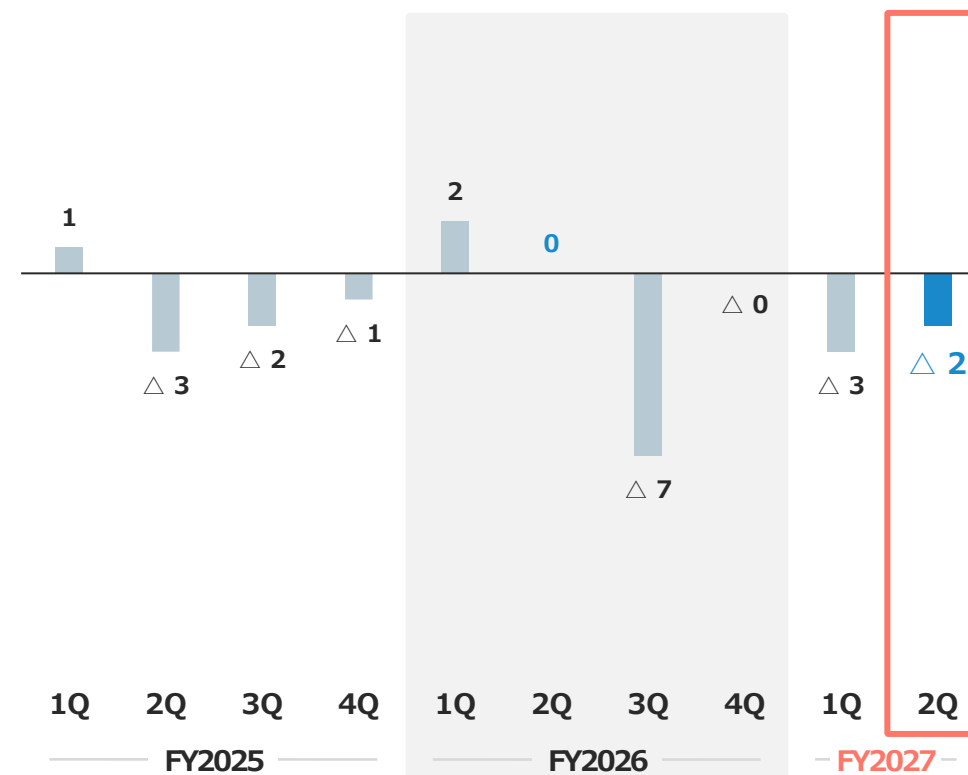
GMV

(単位：百万円)



事業収支

(単位：百万円)

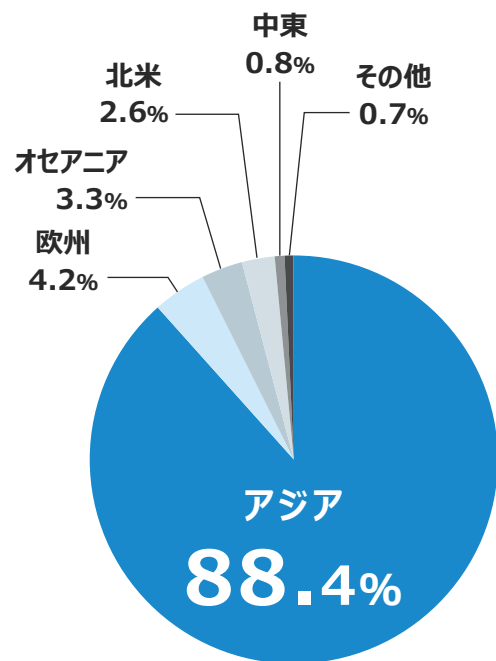




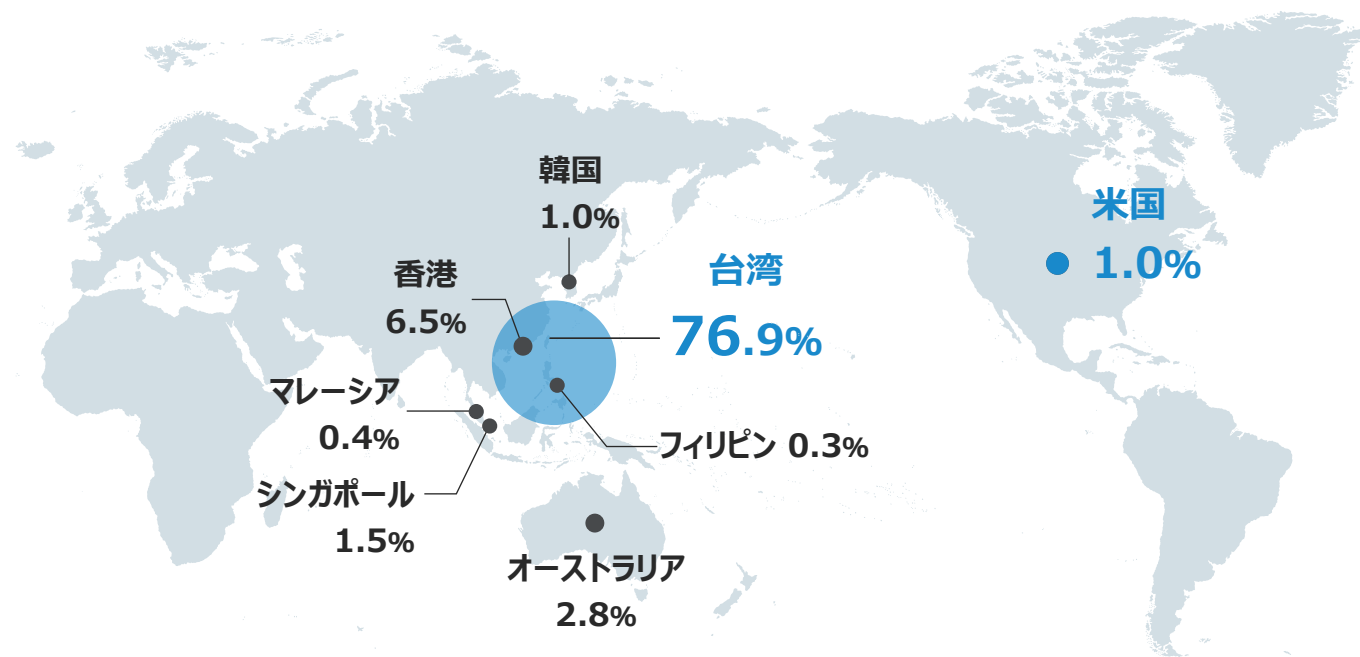
台湾を中心にアジア向けの配送がGMVの8割超を占めている。

米国の非課税基準額（デミニミス）ルール廃止に伴い停止していた米国への配送は再開したものの、関税の事前支払いの対象となる郵便物の上限が従来の800USDから2,500USDに引き上げ。

地域別



国別





越境ECプラットフォーム事業「DOKODEMO」について、事業譲渡先を変更の上、**事業譲渡契約**を締結。

事業譲渡の理由

昨今の国際情勢の不安定化や物流コストの高騰等、本事業を取り巻く環境は厳しさを増しており、本事業の将来価値を最大化するためには「DOKODEMO」への主要な出店者である株式会社スターネットへ事業を譲渡することが最善であると判断いたしました。

なお、今後は、LOWYA事業への経営資源の集中をさらに加速させ、持続的な企業価値の向上を図ってまいります。

事業譲渡の概要

譲渡先	株式会社スターネット
譲渡価額	非開示とさせていただきます
事業譲渡契約締結日	2026年10月30日
事業譲渡期日	2026年12月1日（予定）

※本件による当社業績への影響は軽微であります。

※当初は株式会社スターネットの親会社である株式会社リードヘルスケアへ事業を譲渡することとしておりましたが、相手先の企業グループにおける事業運営体制等を総合的に協議・検討した結果、譲渡先を株式会社スターネットへ変更することといたしました。



4

2027年3月期 業績予想



上期までの業績の進捗を踏まえ、通期の業績予想を修正。
売上高、各利益ともに期初予想を上回る見込み。

	2026年3月期 実績	2027年3月期 期初予想	2027年3月期 修正予想	対期初計画	
				増減額	増減比
売上高（百万円）	18,129	20,800	21,600	800	103.8%
営業利益（百万円）	1,353	1,500	1,700	200	113.3%
経常利益（百万円）	1,366	1,510	1,710	200	113.2%
当期純利益（百万円）	884	921	986	64	107.0%
1株当たり当期純利益（円）	84.09	85.85	92.65	—	—
【参考】					
当期純利益率（%）	4.9%	4.4%	4.6%	—	—
ROE（%）	13.4%	12.2%	13.0%	—	—



5

株主還元（配当）



業績修正に伴い、2027年3月期の期末配当予想を1株当たり18円から20円に修正。

	年間配当金（円）		
	第2四半期	期末	年間
前回予想（2026年5月15日）	0円	18円	18円
今回修正予想	—	20円	20円
当期実績	0円	—	—
前期実績（2026年3月期）	0円	17円	17円

IRに関するお問い合わせ

<https://www.vega-c.com/contact/ir/>

当資料に記載されている意見や予測は、当資料作成時点における当社の判断に基づき作成しております。

これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招く不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本資料に含まれる情報の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。